

第 32 号

平成29年10月15日

山水会

発行

北海道山水会

〔北海道公立学校

事務職員協会OB会〕

会長挨拶

会長 田村 裕明



7月の暑さで、8月はもっと暑いのかと思いましたが、それ程暑くなく過ぎ、秋を迎えることとなりました。会員の皆様にはご健勝でお暮らしのことと拝察し心よりお喜び申し上げます。

ここ数年、全国の天気状況を見てもみますと、何処かで短時間に集中的に雨を降らせるゲリラ豪雨なるものの発生が報じられております。急に1時間で50ミリ、100ミリと言った大量の降雨です。そのため道路の冠水やアンダーパスの水没など災害が突然に訪れます。天災などは忘れたころに来ると言われておりましたが、昨今は、記憶に新しいうちに来ると考え直さなければと思わざるを得ないようです。水の害の連鎖とでも言えばよいのでしょうか。

改めて、災害とは何かと思ひ、辞書で調べてみますと「地震、台風、洪水、津波、火災などによって引き起こされる不時のわざわい」と記されております。

この「不時のわざわい」に、昔はもう一つ加わり「地震、雷、火事、親父」などと言っておりました。それだけ親父の存在感があり、親父に怒られると言うことは、子供にとっては災害にも匹敵したことなのでしょう。

ただ最近の親父を見てから、昨今のニュースを見ますと「地震、雷、火事、親父」も、「地震、雷、火事、北朝鮮」とした方がと思われてなりません。これらの「わざわいによる被害」を出来る限り少なくしようと人工衛星による気象観測や地震計の設置などをしておりますが、全て自然現象に対する対応です。ただ、「親父と北朝鮮」は自然の「わざわい」では無く「人的わざわい」であり、予測しようにも人の行動は読み切れません。我々は、あくまでも結果が出てからの対処だけです。「親父に怒られたら、怒りがおさまるのを静かに待つか、逃げること」「北朝鮮がミサイルを発射してからJアラートの緊急情報で避難すること」と言うことです。

このJアラート緊急情報についてですが、情報があったら地下やコンクリートの強固な建物の中に避難してください、無い場合は地面に伏せるか、物陰に隠れてくださいなどの政府や都道府県の説明ですが、果たして「わざわい」を避けることが出来るのでしょうか。結構、報道によるとJアラートにも不具合が発生しているようです。とにもかくにも「わざわい」に遭いたくないものです。

しかし、日々の報道を見ますと北朝鮮は、国連の制裁決議がなされるたびに、逆に対抗するかのごとく核実験、ミサイル発射を繰り返しています。北朝鮮指導者の頭の中は、観測は不可能ですから「人的わざわい」として「不時のわざわい」が降りかからぬように我々は祈ることより出来ないのでしょうか。

70数年前、日本が軍拡を図り連合国（米、英、中、蘭等）の締め付けを受け、それを打破するために、演習を行い真珠湾への奇襲攻撃を敢行して太平洋戦争に突き進んだ日本のことを重ねてしまいます。歴史は繰り返すと言います。今の北朝鮮のミサイルもアメリカへの奇襲攻撃のための演習vではと思ひ、昔の日本軍の演習と似ているのではと思うのは心配し過ぎでしょうか。

総 会 報 告

総会は、今年度から会場をホテル札幌ガーデンパレスに変更し9月2日（土）15時から開催されました。出席者は来賓を含め41名、開会の言葉に続き、昨年度総会以降に逝去された塚越薫様をはじめ6名の方々、また、先に他界された先輩各位に黙祷で哀悼の意を捧げました。続いて、総会次第により田村



会長からの挨拶があり、その中で本年度、山水会は50周年を迎える事に触れ出席者に記念誌の寄稿を依頼したくお願いしたいとの話がありました。

総会資料に基づき新入会員紹介では、田中副会長から6名の方々を紹介、残念ながら今年度は新会員の出席はありませんでした。

次に、本年めでたく、卒寿・傘寿を迎えられた7名(卒寿1名・傘寿6名)の方々を杉本副会長から紹介、残念ながら総会には誰も出席がありませんでしたので、本人宛事務局から記念品を送らせていただきました。受賞された皆様には、健康に留意され今後とも本会の発展のためご指導下さるようお願い申し上げます。

その後、議事に入り、議長に細川良吉様を選出し、事業報告、会計報告、監査報告の議事が審議され、満場一致で原案どおり承認いただきました。

議長の手際良い進行により、全て議事を円滑かつ迅速に処理し無事予定時間内に終了することが出来ました。細川良吉様本当に有難うございました。

総会終了後は、来賓である教育二団体の北海道公立学校事務職員協会の水本会長、北海道公立学校事務長会の阿部会長から、各々の会の活動状況とそれぞれの課題など資料を基に丁寧なご説明をいただきました。

昨今の道立学校を取り巻く状況、特にここ数年の劇的な変化は、私達が想像をする以上で今更ながら驚かされるとともに、現職の皆様のご苦勞を改めて知ることが出来、時代の変化を感じました。

懇親会は、出席者の中で長老である船本敏雄様の乾杯のご発声で祝宴が始まり、しばし歓談したのち、恒例のビンゴゲームとカラオケで今年も盛り上がり、最後に出席者を代表して石尾由美子様の乾杯により懇親会の幕を閉じ、予定どおり総会及び懇親会の全日程を終了することが出来ました。

また、二次会は二十名以上の参加をいただき、カラオケで今年も大いに盛り上がりました。



平成29年度 山水会 役員

相 談 役	中村 康元、船本 敏雄、宗片 啓、後藤 隆男
会 長	田村 裕明
副 会 長	杉本 恒茂 (庶務)、田中 耕子 (会計)
幹 事 長	川口 繁光
幹 事 (庶務)	加納 諭、佐藤 秀雄、佐々木 修、木津川 雅士
幹 事 (会計)	鶴田 靖子
監 事	山本 邦彦、松山 次男

(今年度は役員の改選はありません)

パークゴルフ大会盛会で終了

すがすがしい皐月の一日を、健康管理維持増進を図るため、本会事業の唯一のレクリエーションとして、平成15年度よりパークゴルフ大会を実施しています。

第14回目を迎えた今年は、会場を「PGJ倶楽部 南幌コース」において5月28日（日）参加者19名と例年に比べると少ないなかで開催しました。

当日は、空模様が心配されましたが午前9時の集合時間には1人も遅れることなく送迎バスに乗り、PGJ倶楽部南幌コースに向かいました。

コースは、南幌温泉に隣接している国際パークゴルフ協会公認コースで、丘の上に展開される2コース36ホールのパノラマコースです。

コースは見た目とは違いティーショットは方向性と正確性を要し、プレイヤーの創造力とテクニックが決め手のコース攻略ですが、チョロしたり、オーバーしたりとグリーンに載せるまで四苦八苦でした。

また、グリーンはどのコースも打ち上げで且つ起伏が有り、なかなか思うように入ってくれなかったですが、皆さんそれなりにパッティングの楽しさを堪能し、途中棄権する人もなく無事終了することが出来ました。

パークゴルフ終了後は、「南幌温泉」で一風呂浴び汗を流した後に、懇親会場の広間に集まり、酒を飲み交わしながら成績発表と表彰が行われました。

特に個人戦で優勝した所司収世さんは、第7回、第8回と優勝した廉澤茂雄さん、第11回、第12回を優勝した山本邦彦さんに次ぐ、3人目の大会連覇を達成しました。来年は、全人未踏の3連覇を目指し、さらに精進し腕を磨くと言っていました。

また、ベテラン勢では80歳代の篠田良男さんが、60歳代の若手にはまだまだ負けられないとホールインワンを達成し、技術力と集中力に勝るベテランの味を出していました。

さて、来年の日程は諸行事等を考慮し2週間遅くなり、集合場所も変更になります。

日 程	平成30年6月10日（日曜日）
集合場所	9時30分 新札幌「区民センター前」
会 場	「南幌温泉」PGJ倶楽部 南幌コース



年に一度では有りますが、春の爽やかな季節に仲間が集いスポーツで汗を流し、お酒を飲み交わしながら交流することはとても有意義なことです。

次回のパークゴルフ大会も皆様多数のご参加をいただきますようお願いいたします。



祝 傘寿・卒寿おめでとうございます

卒寿 荻原 傳 様

傘寿 渡辺 栄一 様 永野 孝 様 今野 博 様 新崎 忠孝 様
廣瀬 優 様 杉本 憲嗣 様

傘寿・傘寿の受賞のお礼と会員の皆様によろしくお伝えくださいとのメッセージが届いております。

荻原 傳 様

「人生の引継書」

このたびの総会の折に卒寿のお祝いの品をくださるとか、心から厚くお礼申し上げます。

大変勝手ですが前約があり、調整が出来ず総会は欠席させて頂いております。

最近通販の申込書を書く以外、ほとんど考えた事もない自分の年齢が卒寿になろうとは思っても見ませんでした。昨年自治会から卒寿の祝を戴いたのを機にポツポツと終活に入り、それとなく身辺整理を始めたところです。人生、終わりの後始末を託す息子に、種々書き纏めるべく素案作りの最中です。何時の時点でこれを説明するか、いざとなるとこのタイミングが気になる次第です。ボケないうちに、それも出来る限り早くに人生の引継ぎをしておきたいと思う親馬鹿の一人です。

今野 博 様

「38年間の思い出」

この度は傘寿のお祝いをいただき有難うございます。
遠い過去を振り返ると北海道職員上級職合格で学校勤務となり、10校、38年(プラス)3年4月、北方民族博物館勤務をした。その間、新設校勤務、予算の持たない学校はあわれでした。道教委職員の工事状況視察の対応です。又、改築校2校もあつと云う間の38年間でした。その間、多くの職員に助けられた事、感謝いたしております。又、土地境界問題40年間も未決であった事、苦労完結した事等、思い出されます。体調がよろしくない軽い脳梗塞になり、長時間の会話はとぎれがちです。又、座骨神経痛右側で苦しめられている。最後に、山水会が末永く継承されると共に益々のご発展をご祈念申し上げます。

新崎 忠孝 様

「妻を亡くして20年」

この度は、傘寿のお祝いをいただき有難うございました。

私は事務生(給仕)から、退職まで45年間高校行政職員として勤務させていただきましたが、残念なことに、苦勞をかけた妻を退職一ヶ月前に亡くしました。若干51才

でした。退職したら二人で国内旅行や世界一周旅行を夢見ていたが、本当の夢に終わった。退職して20年傘寿を迎えたが、私にとって、この20年間の独居生活の人生って何だったのかなと考えています。しかし、子供4人+配偶者3人と孫7人（妻は一人も孫の顔を見ていない）を残してくれたことは感謝している。

昨年10月ペースメーカーを挿入しました。あと何年生きるかわかりませんが、それなりに付き合っていこうと思っています。現職45年、退職20年、色々とお世話になった先輩、同僚、後輩の皆様には、今更ながら感謝申し上げます。末筆ながら、会員の皆様の健勝と山水会の発展を祈念申し上げます。

杉 本 憲 嗣 様

「80才を迎えて」

この度は、傘寿のお祝いをいただき有難うございました。

道立学校在職中は、先輩、同僚、後輩の皆様のご支援に支えられて定年退職することが出来ました。

退職後は、地域のボランティア活動に努めてまいりました。特に、小学生の下校時の見守り、児童会館の花壇整備などをいたしております。これらは今後も続けて行こうと思っています。

終わりに、会員の皆様のご健勝と山水会のご発展をお祈りいたします。

廣 瀬 優 様

傘寿のお祝いのご案内頂きましたが、残念ながら出席出来ません。若い頃は、人生わずか50年と言われていましたが、現在の平均は男性80.75歳、女性は86.99歳と伸び、私はその平均に達しました。後は付録として大切に有意義に生活を過ごそうと思っています。

山 水 会 の さ だ め

(目 的)

第 1 条 本会は、退職北海道公立学校事務職員が相集い、教育の今昔を語り、親睦を深めることを目的とする。

(会 員)

第 2 条 本会の会員は、前条の目的に賛同し、会費を納入した者をもって構成する。

(事 務 所)

第 3 条 本会の事務所は、会長の所在地におく。

(役員・任期)

第 4 条 本会役員は、次のとおりとする。

役員は総会において選出され、その任期は2年とする。

(1)相談役 若干名 (2)会長 (3)副会長 2名 (4)幹事 若干名 (含む幹事長)
(5)監事 2名

2 会長は、幹事の中から幹事長を指名する。

(職 務)

第 5 条 役員職務は、次のとおりとする。

(1) 相談役は、役員会の相談に応ずる。
(2) 会長は、会務を統括する。
(3) 副会長は、会長事故あるとき職務を代行する。
(4) 幹事長は、会長の命により会務の連絡調整を行う。
(5) 幹事は、会長の命により会務を行う。
(6) 監事は、会の会計監査を行う。

(総会・役員会)

第 6 条 総会は年1回これを開き、役員会は必要に応じ会長が、これを召集する。

(慶 弔)

第 7 条 本会の慶弔に関することについては、役員会において決める。

(会費・年度)

第 8 条 本会の経費は、会費及び寄付金によるものとする。

2 会費は年額 2,000円とする。

3 会計年度は、9月1日から翌年8月31日までとする。

(附 則)

- 1 この定めは、昭和42年4月よりこれを実施する。
- 2 この定めは、昭和48年9月より改正する。
- 3 この定めは、昭和52年9月より改正する。
- 4 この定めは、昭和57年10月より改正する。
- 5 この定めは、平成9年9月より改正する。
- 6 この定めは、平成23年9月より改正する。

お 知 ら せ

会員の皆様の健康増進と地域会員相互の親睦・親交を深めるため、本会では助成金を出しております。

次のような条件が整えば助成金をお届けしますので、是非これを活用して地域仲間の活性化を図ってください。

記

- 1 パークゴルフ etc
- 2 参加人数 ○○人（会員10人以上を含む、参加者名簿添付）
- 3 開催日 平成 年 月 日
- 4 地区区分 道南（函館市、近隣）、道北（旭川市、近隣）、道東（帯広市、近隣）
- 5 助成金 5、000円
- 6 送金方法 銀行振込（銀行名、口座名義人、口座番号）

来年の総会は、9月8日（土）15時からです。

会 場 「ホテル札幌ガーデンパレス」

札幌市中央区北1条西6丁目 Tel 011-261-5311

たくさんの会員の参加をお待ちしています！

50周年記念誌を発行します。
寄稿いただける方は3月末日までに幹事あてお送りください。

編集後記

「山水会会報第32号」をお届けします。

これからは日毎に寒さが増してまいります。会員の皆様におかれましては、風邪など召さぬよう、くれぐれも健康に留意され、楽しく充実した毎日を過ごされるよう祈念申し上げます。
なお、本会についてのご意見、ご要望がありましたら、下記役員まで連絡願います。

（連絡先）

- ・庶務関係 幹事 川口 繁光
- ・会計関係 幹事 鶴田 靖子



平成29年9月2日

平成29年度北海道山水会総会

ホテル札幌ガーデンパレス